

2018年4月12日

川崎重工業株式会社
電源開発株式会社
岩谷産業株式会社
丸紅株式会社

水素サプライチェーン(日豪間)構築の実証事業に着手

川崎重工業株式会社(代表取締役社長:金花芳則、以下 川崎重工)、電源開発株式会社(代表取締役社長:渡部肇史、以下 J パワー)、岩谷産業株式会社(代表取締役社長:谷本光博、以下 岩谷産業)、丸紅株式会社(代表取締役社長:國分文也、以下 丸紅)は、豪州企業の AGL Energy Limited(CEO: Andrew Vesey、以下 AGL)とともに 5 社でコンソーシアムを組み、豪州政府の資金支援が決定したことを受け、豪州・ビクトリア州ラトローブバレーの褐炭から製造された水素を液化し、日本へ輸送する国際的なサプライチェーン(Hydrogen Energy Supply Chain (HESC) Project)構築の実証事業に取り組みます。

豪州政府の補助金を受けて、水素ガス精製、液化水素製造、陸上輸送および積出のパイロット実証と、水素サプライチェーンの商用化に関する検討を行います(以下、本実証)。実証設備の建設は、2019 年から順次開始予定です。最初の水素製造および輸送試験は、2020 年から 2021 年の間に実施を予定しています。

輸送機器製造や各種産業用プラント建設の実績を有する川崎重工は、本実証において、日本における水素のトップサプライヤーである岩谷産業とともに、液化水素積荷基地の建設および運用評価を担当します。クリーンコール技術に実績のある日本最大の卸電力会社である J パワーは、褐炭をガス化し、製造された水素ガスの精製設備を担当します。また、国際的なエネルギー流通のノウハウと実績を持つ丸紅は、それぞれの実証を基に将来の商用サプライチェーン構築に向けた具体的な道筋の構築を行います。さらに、豪州を代表する大手総合エネルギー企業である AGL は、褐炭の供給とガス精製設備の建設地を提供します。

コンソーシアム 5 社は連携し、豪州政府の補助金を受けて、実証事業を効率的に進めていきます。



【CO₂フリー水素サプライチェーン構想と本実証部分】

※本実証部分外は、既に国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)より補助金を受けており、川崎重工、J パワー、岩谷産業、シェルジャパン株式会社で「技術研究組合 CO₂フリー水素サプライチェーン推進機構(HySTRA)」を設立し、実証事業の活動が開始されています。

以上

【ご参考】

本日、コンソーシアム 5 社は、豪州政府とともに本実証事業に関する記者会見を実施しています。詳細については以下のリンクをご参照ください。(URL: www.hydrogenenergysupplychain.com)